

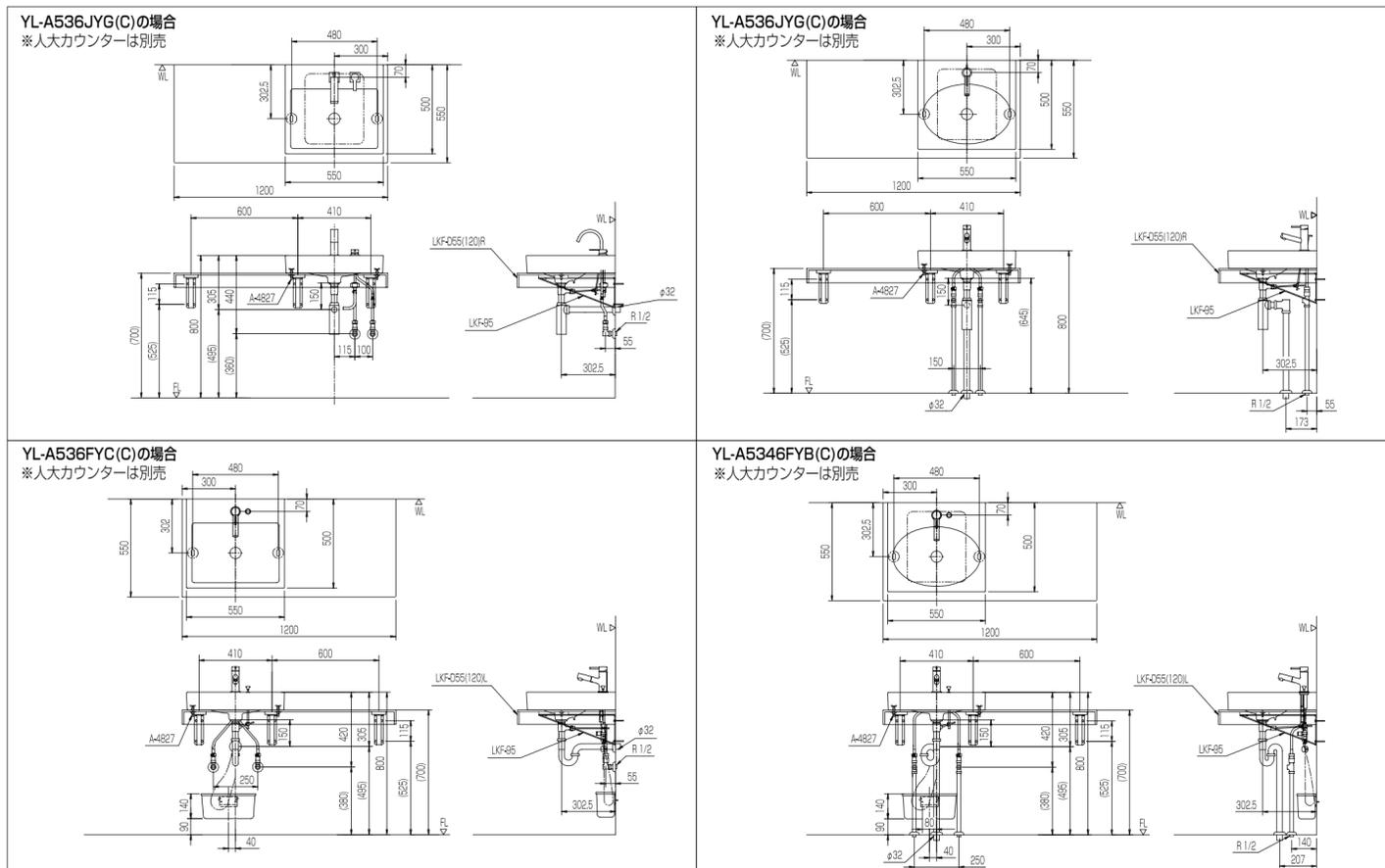
洗面器セット

※カウンターは別手配品です。

- | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| YL-A536JYP(C) | YL-A536SYP(C) | YL-A546JYP(C) | YL-A546SYP(C) | YL-A536JYA(C) | YL-A536SYA(C) | YL-A536FYA(C) | YL-A546JYA(C) | YL-A546SYA(C) | YL-A546FYA(C) |
| YL-A536JYQ(C) | YL-A536SYQ(C) | YL-A546JYQ(C) | YL-A546SYQ(C) | YL-A536JYB(C) | YL-A536SYB(C) | YL-A536FYB(C) | YL-A546JYB(C) | YL-A546SYB(C) | YL-A546FYB(C) |
| YL-A536JYG(C) | YL-A536SYG(C) | YL-A546JYG(C) | YL-A546SYG(C) | YL-A536JYC(C) | YL-A536SYC(C) | YL-A536FYC(C) | YL-A546JYC(C) | YL-A546SYC(C) | YL-A546FYC(C) |
| YL-A536JYH(C) | YL-A536SYH(C) | YL-A546JYH(C) | YL-A546SYH(C) | YL-A536JYD(C) | YL-A536SYD(C) | YL-A536FYD(C) | YL-A546JYD(C) | YL-A546SYD(C) | YL-A546FYD(C) |

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●標準施工図



●梱包内訳

品番	YL-A536JYP(C)	YL-A536JYQ(C)	YL-A536JYG(C)	YL-A536JYH(C)	YL-A536SYP(C)	YL-A536SYQ(C)	YL-A536SYG(C)	YL-A536SYH(C)	YL-A546JYP(C)	YL-A546JYQ(C)	YL-A546JYG(C)	YL-A546JYH(C)	YL-A546SYP(C)	YL-A546SYQ(C)	YL-A546SYG(C)	YL-A546SYH(C)
洗面器・水栓																
水栓																
固定金具	<p>ワッシャー (大) ワッシャー (小) ナット</p>															
排水トラップ																
止水栓																

品番	YL-A536JYA(C)	YL-A536JYB(C)	YL-A536JYC(C)	YL-A536JYD(C)	YL-A536SYA(C)	YL-A536SYB(C)	YL-A536SYC(C)	YL-A536SYD(C)	YL-A536FYA(C)	YL-A536FYB(C)	YL-A536FYC(C)	YL-A536FYD(C)	YL-A546JYA(C)	YL-A546JYB(C)	YL-A546JYC(C)	YL-A546JYD(C)	YL-A546SYA(C)	YL-A546SYB(C)	YL-A546SYC(C)	YL-A546SYD(C)	YL-A546FYA(C)	YL-A546FYB(C)	YL-A546FYC(C)	YL-A546FYD(C)
洗面器																								
水栓																								
固定金具	<p>ワッシャー (大) ワッシャー (小) ナット</p>																							
排水トラップ																								
止水栓																								
水受タンクセット																								

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

警告 …	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意 …	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
	「分解してはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

警告

洗面器の固定は確実に行ってください。
※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。

注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※破損しケガをすることがあります。

水道水以外に接続しないでください。
※内部の腐食により破損や漏れ、故障の原因となります。

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確認してください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給排水管の接続は確実に行ってください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給水・給湯管の差し直しをする際は、必ず湯側、水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。
※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。

給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

陶器に熱湯を注がないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

陶器に硬いものを落とさないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

●施工前の確認・注意

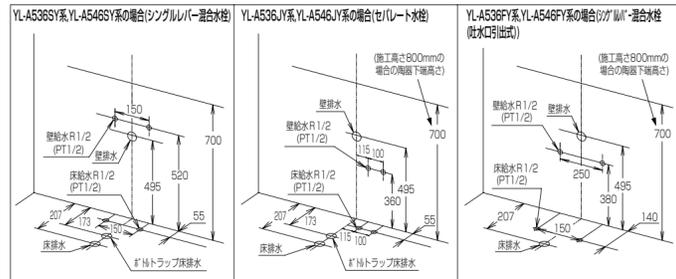
※現場調達のカウンターは、水平に施工してください。

(1) 取付けに必要な工具

- セパレート水栓の取付けには別売の専用工具 KG-9 (対辺 38) と KG-32 (対辺 47) が必要です。
- シングルレバー混合水栓の取付けには別売の専用工具 KG-23 (対辺 13) が必要です。
- シングルレバー混合水栓 (吐水口引出式) の取付けには別売の専用工具 KG-9 (対辺 38) が必要です。

(2) 洗面器の給排水位置について

- 洗面器用に、給排水管の立ち上げが必要です。給排水管の取出し位置は決まっていますので、必ず指定の位置に取出してください。
- 取出し位置のずれは±10mm以内とさせていただきます。



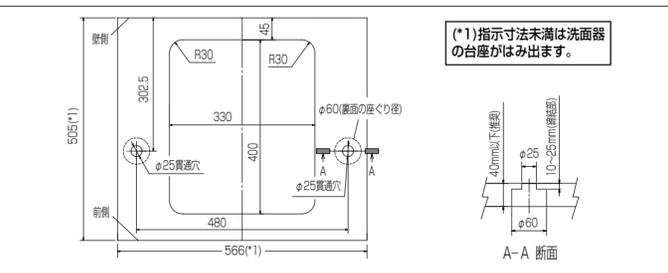
注意

- 器具取付前に給水管、排水管内に異物が混入しないようにしてください。
- 給水管にはプラグ (LF-7T)、排水管内にはビニール袋等でカバーしてください。

(3) 補強木の位置について

キャビネットの取り付けには、背面壁に補強が必要です。現場調達カウンターの場合、市販ブラケットの本ネジ位地に、厚さ30mm以上の補強木をあらかじめ設けてください。(セット総重量は20Kg以上あります)

(4) カウンター開口と固定穴位置について



(5) 給水条件

水栓に同梱されている施工説明書を参照ください。

(6) 配管の注意

水栓に同梱されている施工説明書を参照ください。

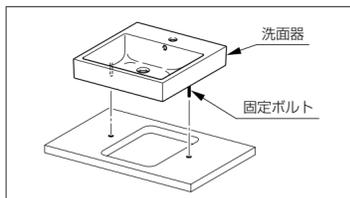
●施工方法

1. 洗面器の取付け

- (1) 洗面器をカウンターにのせます。
※カウンターは別手配品です。

注意

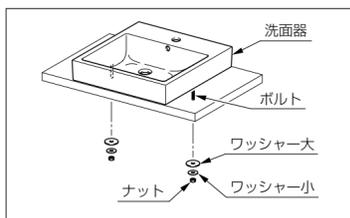
カウンターに衝撃を与えるとカウンターが破損してケガをする恐れがあります。



- (2) 洗面器のボルトをキャビネット内部からワッシャー大、ワッシャー小、ナットで固定します。

注意

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

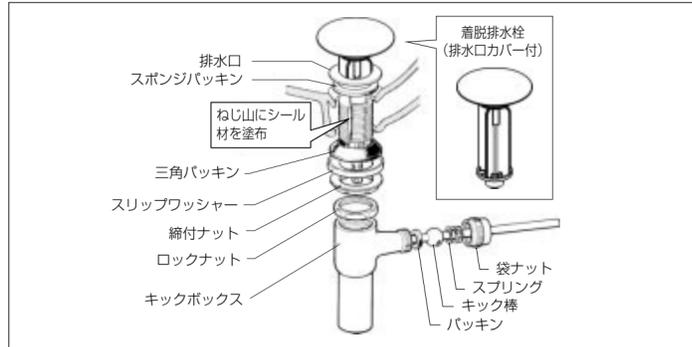


2. 水栓金具の取付け

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

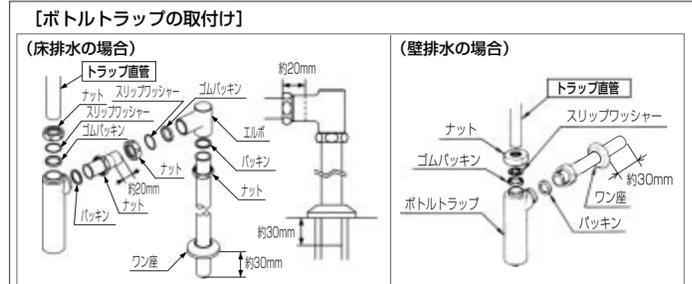
3. 排水口金具の取付け

- (1) 排水口のツバ下パッキンには、スポンジパッキンが使用してあります。しかし、ネジ山をつたって漏水することが考えられますので、図のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際、締め過ぎにならないよう注意してください。
※排水金具が変形し漏水の原因になります。
- (2) 排水栓 (排水口カバー付) が「閉」状態のときにキック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込み、ロックナットでキックボックスをしっかりと固定してください。
- (3) キック棒の袋ナットを漏水しない程度に締め付けてください。この際、締め過ぎにならないよう注意してください。
※キック棒の動きが重くなります。

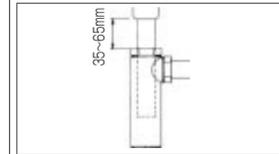


4. 排水管の取付け

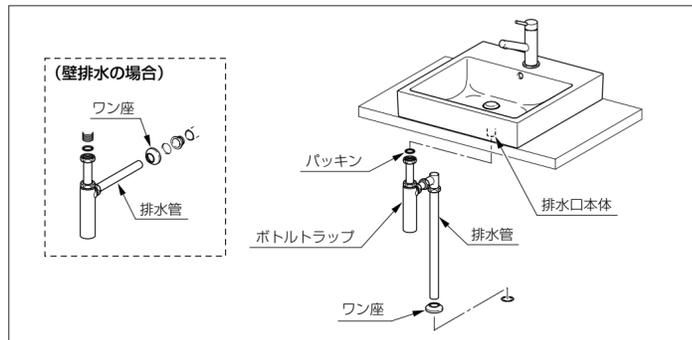
- (1) ボトルトラップ排水管を仮組みし、建築側排水立上げ管への差込しろ (約30mm) を残して排水管を切断します。
※トラップ直管は、絶対に切らないでください。
※下図の寸法 (ボトルトラップ封水深) が35~65mmになっていることを必ず確認してください。
※床排水の場合、エルボーとの差込みしろは約20mm確保してください。



【ボトルトラップ封水深の確認】



- (2) ワン座を取り付けた後、ボトルトラップ排水管を接続します。

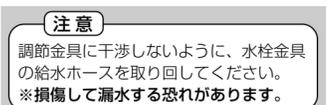


5. ウェスト棒の取付けおよび調節

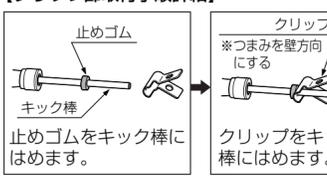
- (1) ねじ山に図のようにシールをし、スポンジパッキン (上部)、三角パッキン (下部) を当てて締め付けます。
※締めすぎないように注意してください。
※三角パッキンについてシール材が変色することがあります。
※排水金具に社名表示がある場合は、社名が手前に向くように取り付けてください。
- (2) キック棒に止めゴムと調節金具、ガイドを図のように組付けます。
※下段の「クリップ部取付手順詳細」を参照ください。
- (3) ウェスト棒を水栓金具に通し、調節金具のクリップ部をつかみながらウェスト棒差込穴に通します。

【シングルレバー混合水栓 (吐水口引出式の場合)】

- (3-1) 洗面器にウェスト棒の台座を専用工具 (KG-5) で固定します。
- (3-2) ウェスト棒を台座に通し、さらに調節金具のクリップ部をつかみながらウェスト棒差込穴に通してください。
- (4) 排水栓の開閉 (約10mm上下) ができるように、ウェスト棒の高さを調節します。
※調節金具のクリップ部をつかみながら調節してください。
※取っ手と水栓がぶつからないよう、押した状態で60~65mm程度すき間をあけてください。
- (5) 調節金具が動かないよう、止めゴムではさみます。



【クリップ部取付手順詳細】



※ウエスト棒が長すぎて排水管等に干渉する場合は、下端にある切り込みより、プライヤー等を用いて切除してください。



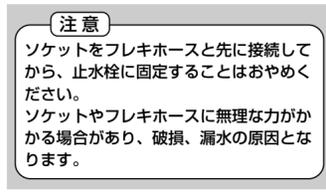
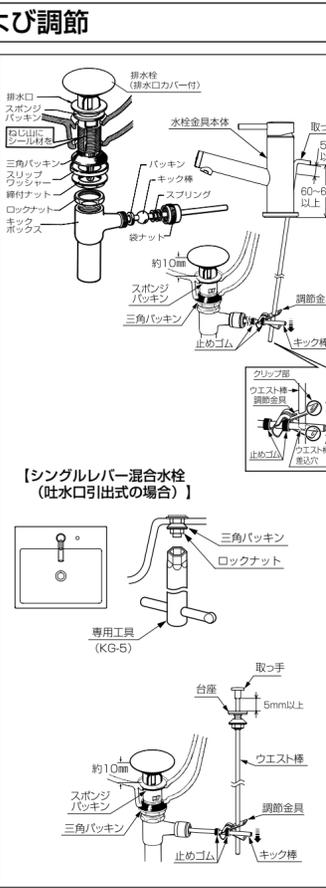
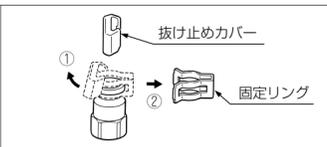
6. 給水管、止水栓の取付け

建築側給水取り出しに止水栓、給水管、ワン座を取り付けます。
※ねじ部にはシールテープを巻き付けてください。

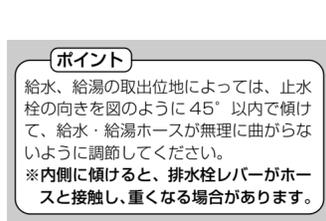
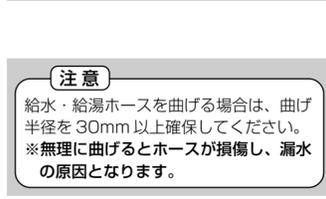
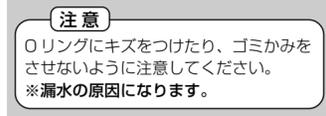


7. 給水ホースの接続

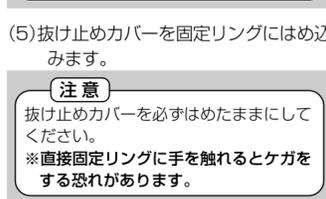
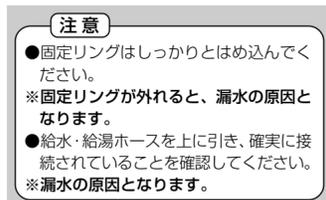
- (1) 抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。
- (2) ソケットを止水栓に固定します。



- (3) 給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、ソケットに差し込みます。



- (4) 固定リングを給水・給湯ホースとソケットの接続部 (ツバ部) にはめ込みます。

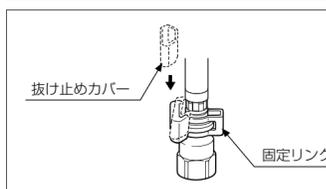
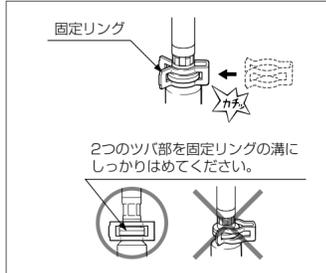
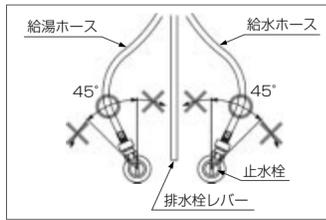
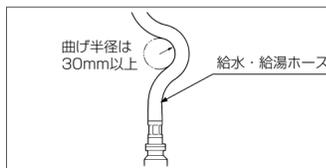
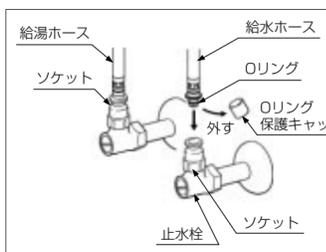
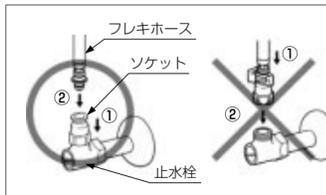


8. 通水検査、水漏れ点検、整流口の清掃

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

9. カウンターと陶器周囲のシリコンシール

カウンターの壁付け面と陶器とカウンターの接地面にシリコンシールします。



10. 引渡前の確認

漏水検査を必ず行ってください。
※水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。